



“給食ツアーリズム”で
三浦市に
VITALITYを

慶應義塾湘南藤沢高等部
チーム名：DIVERSITY
梅本麻帆 鈴木実由 中本明希



研究の動機

ウィズコロナ時代における
三浦市の観光人口
減少

ウィズコロナ時代と
三浦市の特徴を
生かして観光客を
増やしたい



目次

<1> 三浦市とは

<2> ウィズコロナ時代の観光

<3> 施策の内容

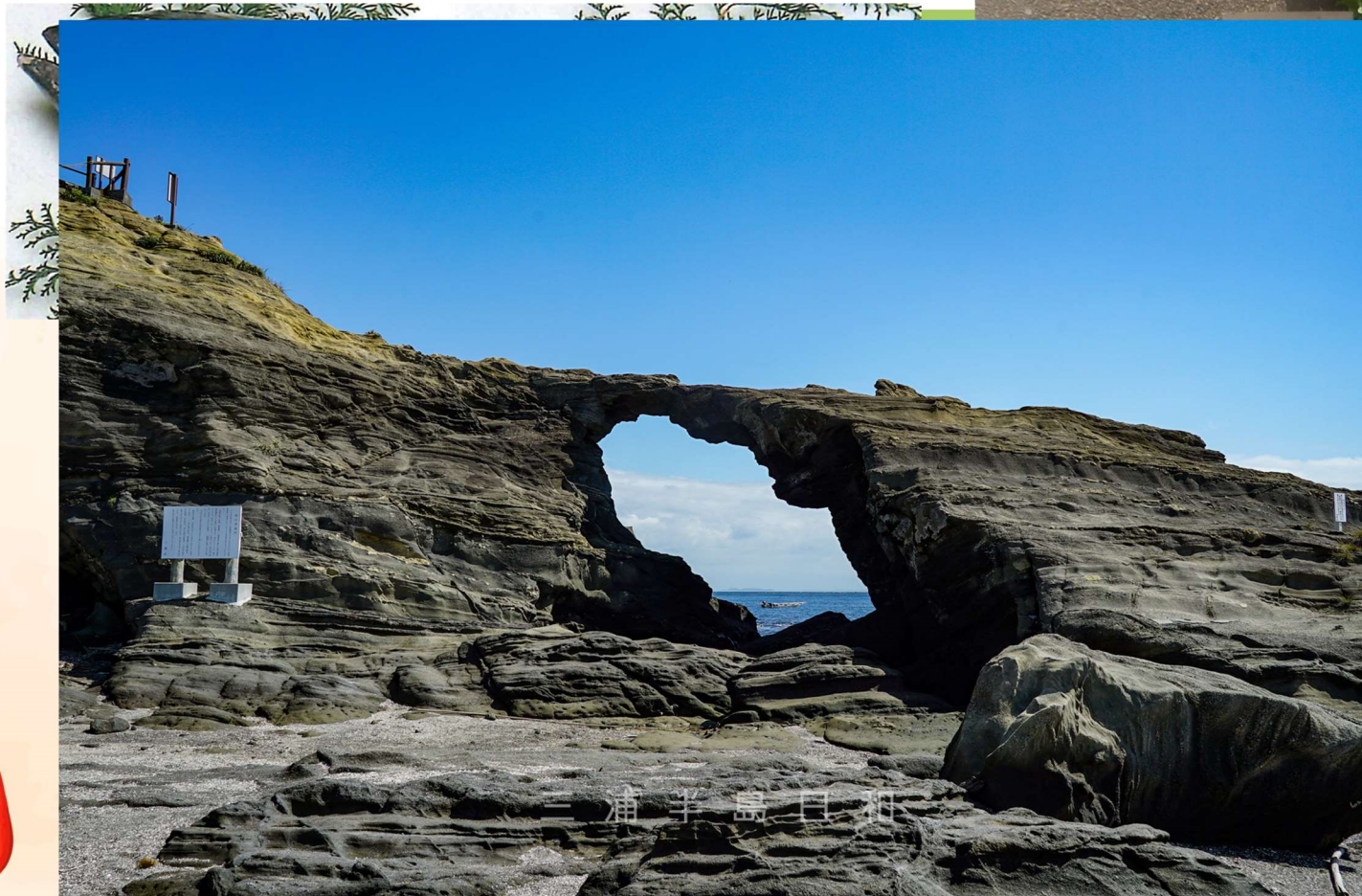
<4> 今後の展望





<1> 三浦市とは

三浦市の所在





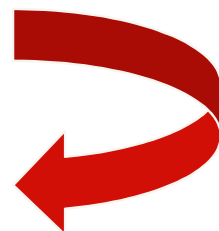
三浦市のウィズコロナ時代における観光客数

2019年 614万人

2020年 401万人8千人

2021年 420万人8千人

2022年 421万人

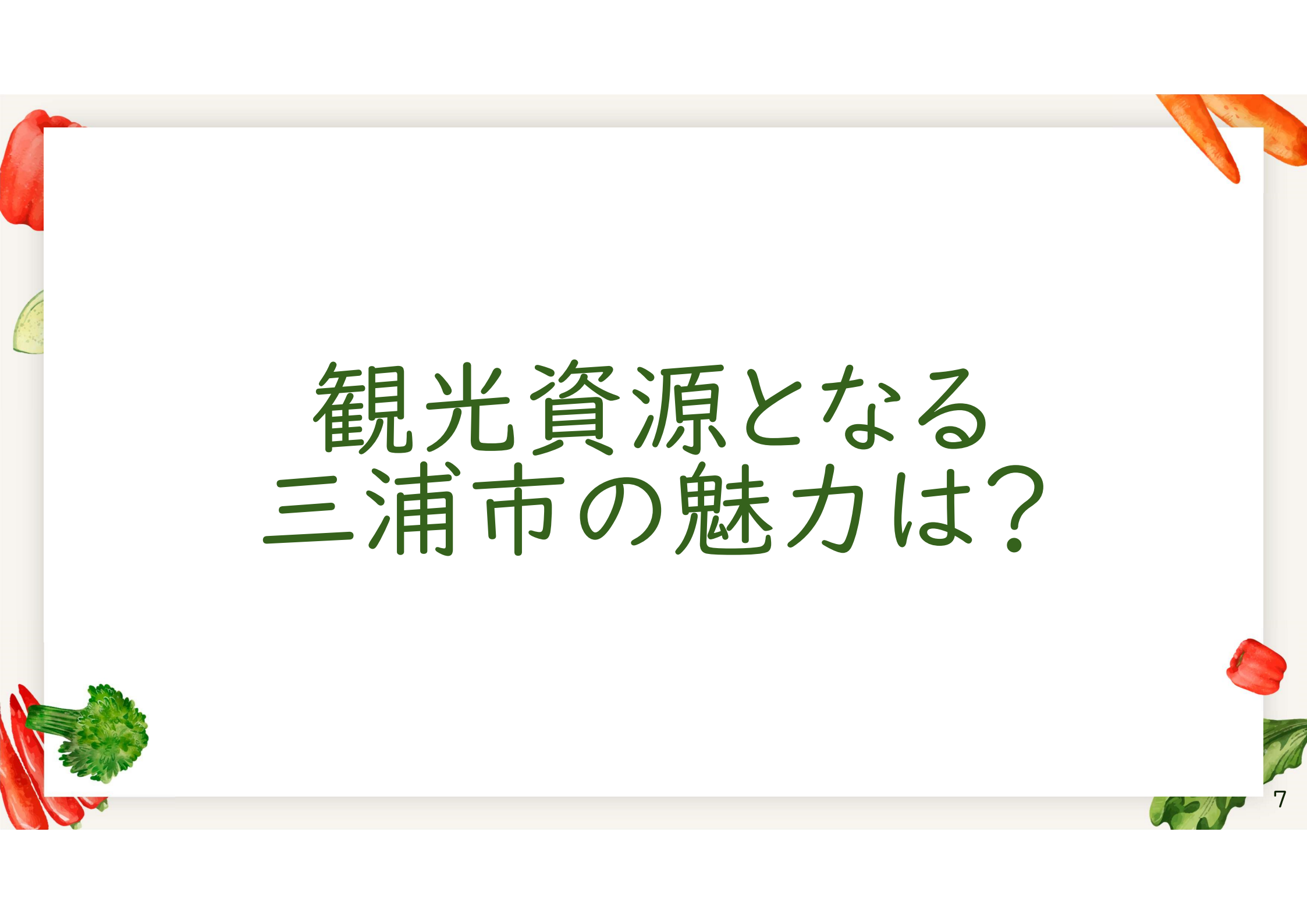


2000人
の増加のみ

伸び率は、県内19市内で**最低**

【出典】三浦市の観光客、低調続く 22年は前年から2千人しか増えず 2023年
<https://news.yahoo.co.jp/articles/3ba5ac21fabdbbb6e7628e0358462e7075c0e32>





観光資源となる 三浦市の魅力は？

農業

【出典】神奈川県三浦市

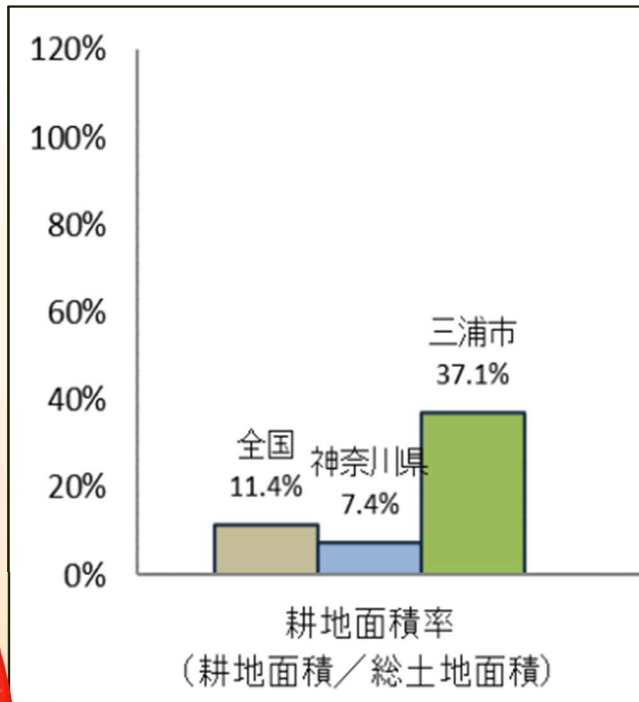
<https://www.machimura.maff.go.jp/machi/contents/14/210/index.html>

三浦市の農業概要

[https://japancrops.com/municipalities/kanagawa/miura-shi/#:~:text=%E4%B8%87%E6%B5%A6%E5%B8%82\(%E7%A5%9E%E5%A5%88%E5%B7%9D%E7%9C%8C\)%E3%81%AE%E8%BE%B2%E6%A5%AD%E6%A6%82%E8%A6%81&text=%E4%B8%87%E6%B5%A6%E5%B8%82%E3%81%AE%E8%BE%B2%E6%A5%AD%E3%81%AF,%E8%BE%B2%E6%A5%AD%E3%80%8D%E3%81%A8%E3%81%AA%E3%81%A3%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82](https://japancrops.com/municipalities/kanagawa/miura-shi/#:~:text=%E4%B8%87%E6%B5%A6%E5%B8%82(%E7%A5%9E%E5%A5%88%E5%B7%9D%E7%9C%8C)%E3%81%AE%E8%BE%B2%E6%A5%AD%E6%A6%82%E8%A6%81&text=%E4%B8%87%E6%B5%A6%E5%B8%82%E3%81%AE%E8%BE%B2%E6%A5%AD%E3%81%AF,%E8%BE%B2%E6%A5%AD%E3%80%8D%E3%81%A8%E3%81%AA%E3%81%A3%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82)

三浦市の農業概要

三浦市の耕地面積率



三浦市の耕種の内訳と神奈川県内・日本国内における農業産出額の割合

(金額単位: 1,000万円)

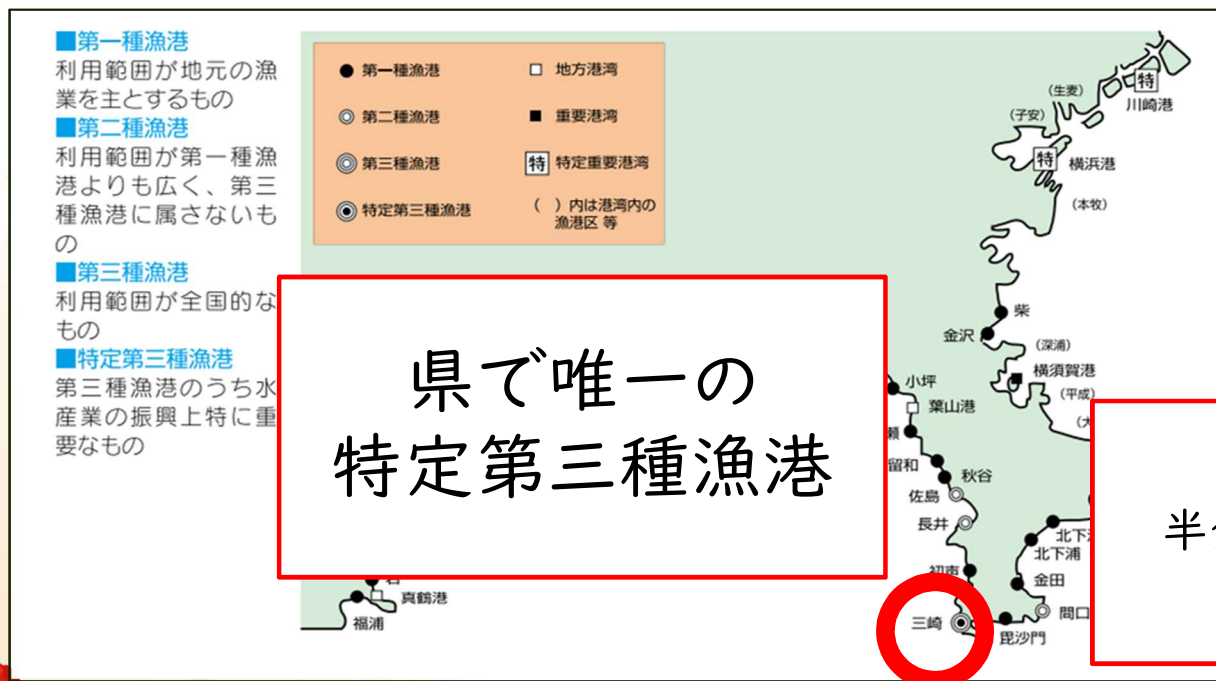
品目名	金額	神奈川県内(33市町村)		日本国内(1719市町村)	
		占有率	順位	順位	総額
耕種	1,315	19.4%	1 (位)	83 (位)	600,218
→ 米	-	-	-	-	-
→ 麦類	-	-	-	-	-
→ 雑穀	-	-	-	-	-
→ 豆类	-	0%	3 (位)	375 (位)	5,780
→ いも類	-	5%	20 (位)	829 (位)	23,949
→ 野菜	1,307	27.4%	1 (位)	24 (位)	255,680
→ 果物	3	0.3%	24 (位)	978 (位)	83,350
→ 花き	-	-	-	-	-
→ 工芸農作物	-	-	-	-	-
→ その他の農作物	-	-	-	-	-

1位

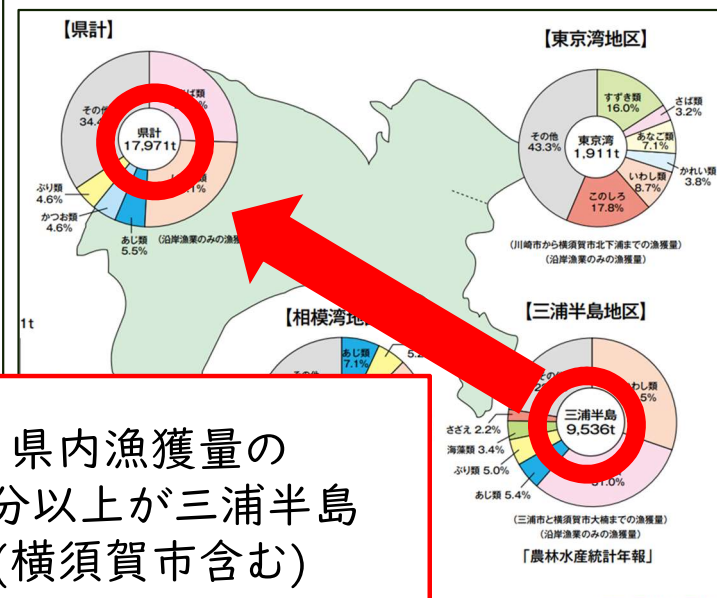
漁業

【出典】水産業のすがた
http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/life/1231537_4461294_misc.pdf

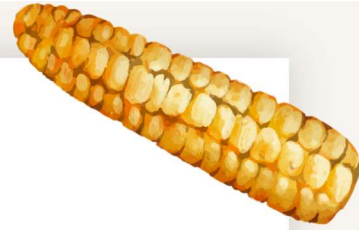
神奈川県漁港の位置



沿岸漁業魚種別生産量



<2> ウィズコロナ時代の観光



ウィズコロナ時代の観光に求められるもの

コロナ以降増加した旅行意識

n= 1,889	コロナ前	コロナ以降	変化 (差)
	%複数回答	%複数回答	ポイント差
にぎわいや交流よりも、混雑を避けたい	9.5	36.8	27.4
目的地や交通手段は感染リスクを考慮して検討したい (直近の感染者数など)	1.3	21.4	20.1
移動はマイカーや自転車など、少ない人数で利用したい	3.5	7.9	4.4
旅費は高額でも安心・安全を優先したい	1.6	5.5	3.8
目的地は、国内など近場を優先的に検討したい	3.2	4.2	1.0

【出典】ウィズコロナ時代の生活者の旅行意識調査
<https://www.kankokeizai.com/>【データ】ウィズコロナ時代の生活者の旅行意識/

- ☑ 人混みが少ない
- ☑ 安全な交通手段
- ☑ 少人数での移動
- ☑ コロナ対策がしっかりしている
- ☑ 目的地が近場である

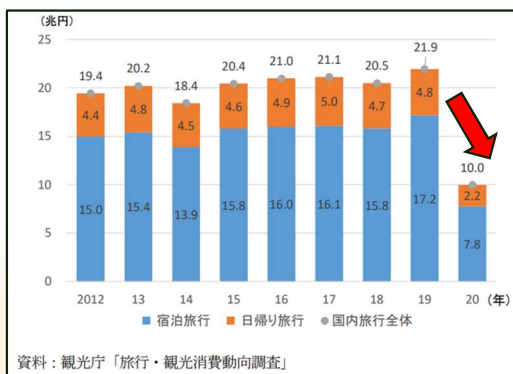


ウィズコロナ時代の観光業の課題



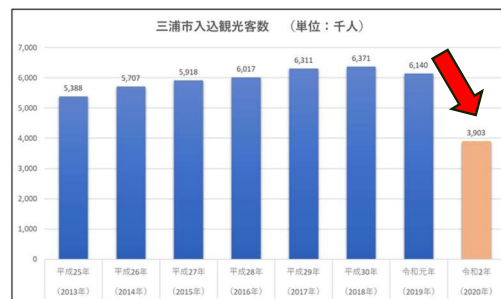
【出典】観光統計 <https://www.fujisawa-kanko.jp/info/stat.html>

日本人国内旅行消費額の推移



観光消費額の大幅減少
= 経済的プラス効果の減少

三浦市の観光客数の推移



(出典：三浦市統計書及び神奈川県入込観光客調査結果 ※令和2年は速報値)

観光客数の大幅減少

観光客の需要

- 人混みが少ない
- 安全な交通手段
- 少人数での観光
- コロナ対策がしっかりしている
- 目的地が近場である

「少人数観光」需要による
団体客の減少

→ 観光業活性化のためには...

いかにして団体客を取り込むか が重要なのではないか？



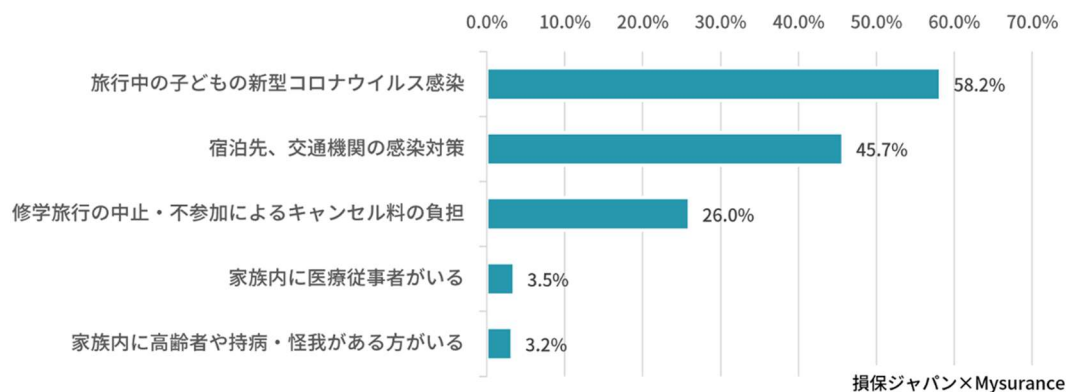
ウィズコロナ時代の観光業の課題

旅行に対する不安要因

【出典】コロナ禍の修学旅行の参加実態調査
<https://www.kankokeizai.com/>【データ】コロナ
禍の修学旅行の参加実態調査

(これから修学旅行が実施予定の方) コロナ禍にお子さまを修学旅行に参加させることについて、不安はありますか？

n=431 ※上位5項目抜粋、複数選択可

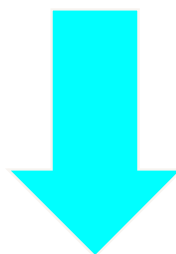
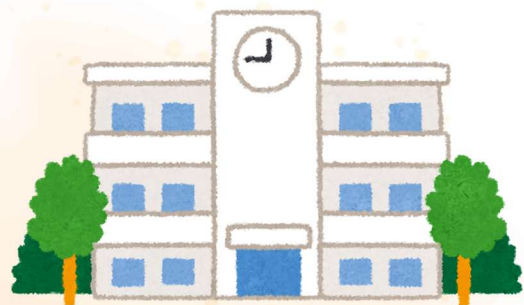


- ☑ 旅行中の感染への不安
- ☑ 宿泊先の感染対策への不安
- ☑ 交通機関の感染対策への不安

→ 旅行時間を短くすれば対処可能!

ウィズコロナ時代における観光

最小限のコロナ罹患リスク × 最大限の団体観光客



私たちが目をつけるのが...



日帰り修学旅行





「学校」という団体客の利点


【団体客の例】 学校(=生徒)、日本人 / 外国人 団体ツアー客... など

学校

生徒は日頃から生活を共にしている
→新たな感染爆発には繋がりにくい

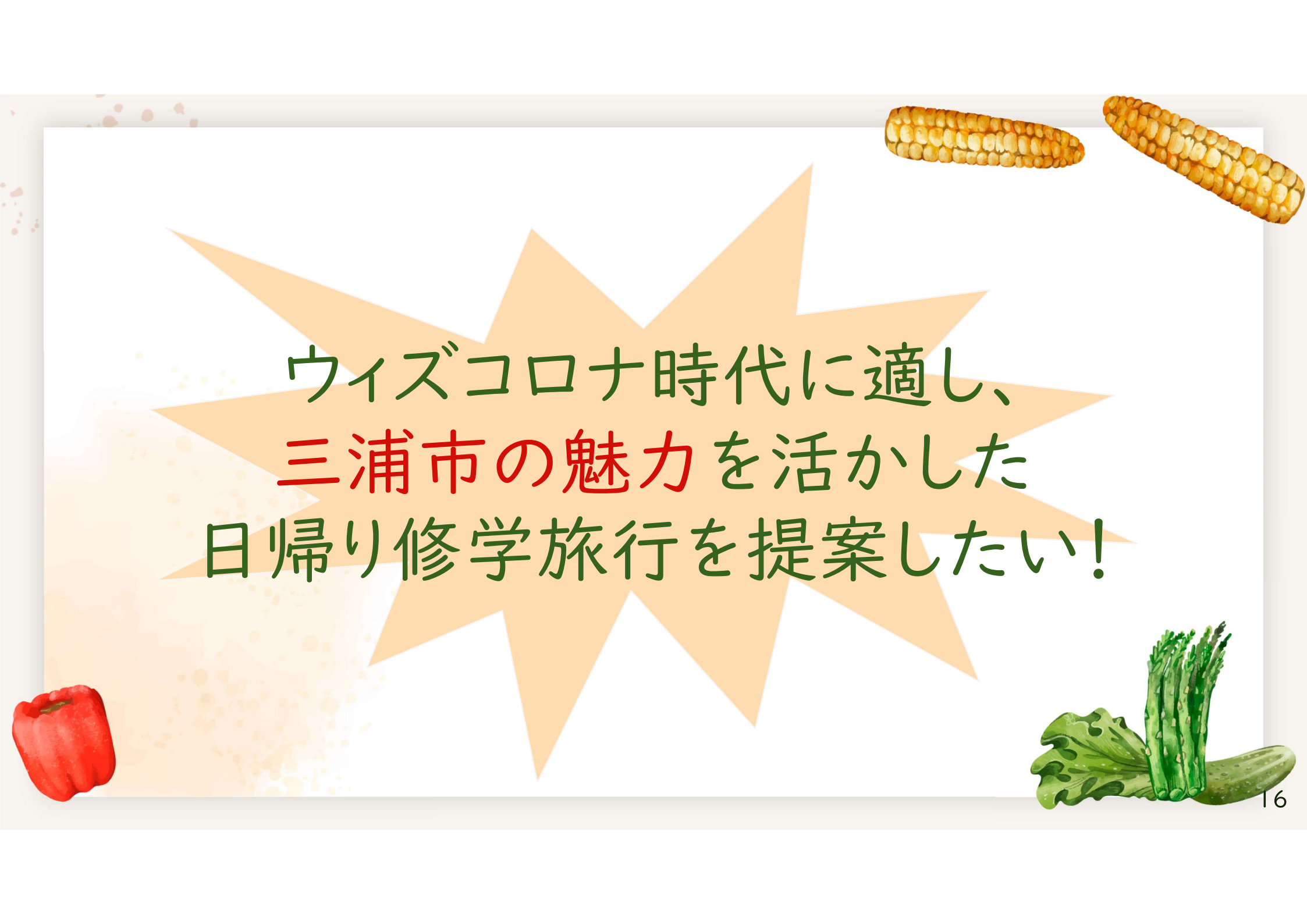
団体ツアー

客たちは日頃の生活拠点・スタイルがまばら
→感染爆発に繋がりがやすい



団体客の選択肢の中で、「学校」は
ウィズコロナ時代において適している





ウィズコロナ時代に適し、
三浦市の魅力を活かした
日帰り修学旅行を提案したい!



修学旅行の目的地としての「三浦市」

農業 × 漁業 × 修学旅行

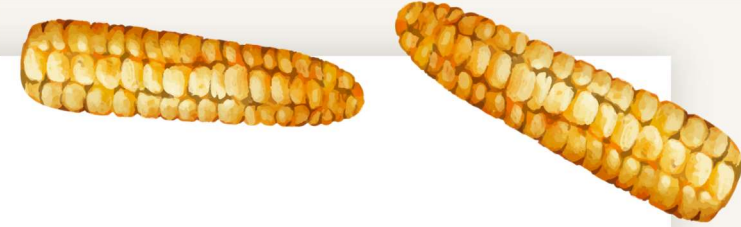
= 農業・漁業体験



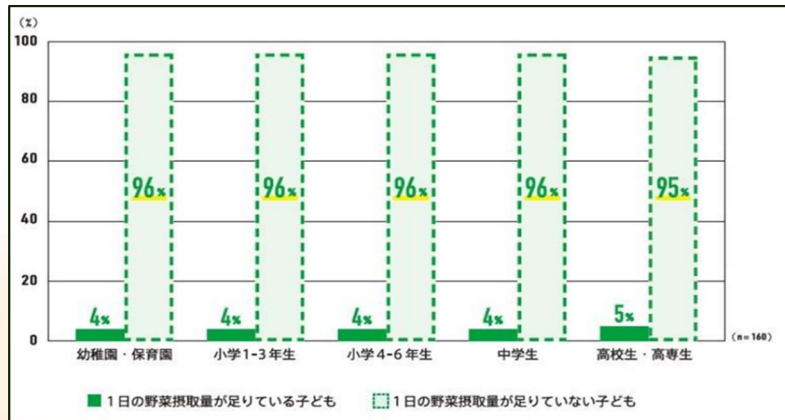
ただの体験で終わらせない!
この旅行に「教育的」な意味を持たせるためには...?



「食育」の必要性

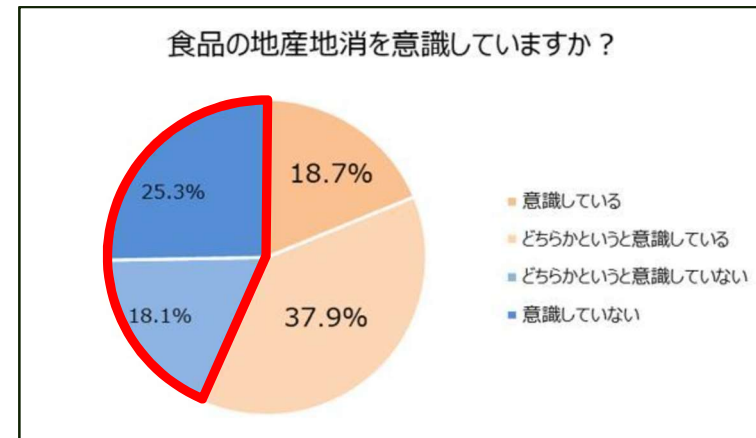


野菜摂取量が足りていない子どもの割合(年齢別)



=野菜摂取に対する意識の欠如

地産地消を意識している人の割合



=地産地消に対する意識の欠如

【出典】子どもの野菜摂取に関する意識調査

<https://www.kagome.co.jp/library/company/news/2017/img/17033110001.pdf>






農・漁業体験と「食育」の推進

農・漁業体験をしている人は、そうでない人と比較して、

- ・食に対する関心が高い
- ・食事の好き嫌いが無い人が多い
- ・食べ残しが少ない

→ 農業・漁業体験を「食育」の一環に



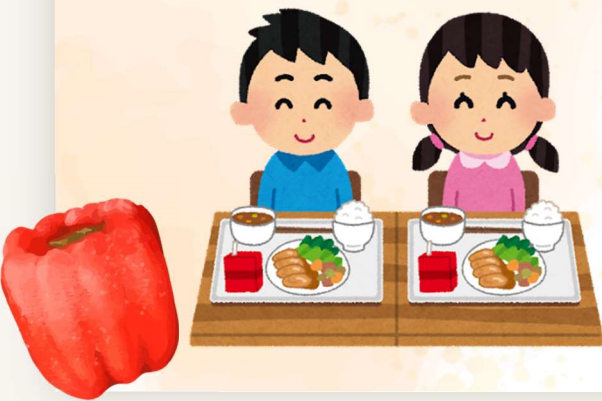
【出典】農林漁業体験をするとどんないいことがあるの？
<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/evidence/attach/pdf/index-25.pdf>



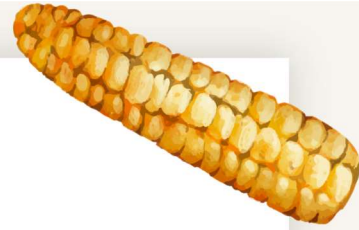


修学旅行×農・漁業体験 × 食育

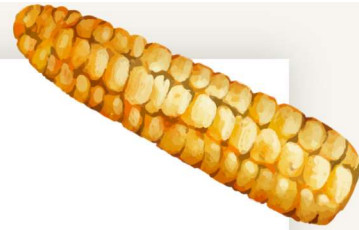
“給食ツアーリズム”



<3> 施策の内容



“給食ツーリズム”とは



農家・漁師が給食に食材を提供 (=地産地消の推進)



地元産物をきっかけに食育の活性化



食育の一環として現地を訪れ、農業・漁業体験を行う
(日帰り修学旅行)



地産とは -地産地消の定義から探る-

【参考文献】地産地消とは？

<http://www.jsapa.or.jp/chisan/What%20tisantishou/intro.html>

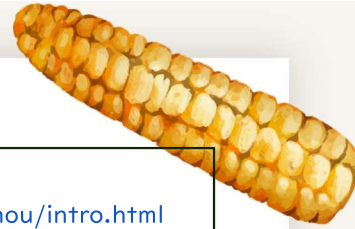
(農林水産省より)

地産地消とは、地域で生産されたものをその地域で消費することですが、国の基本計画では、地域で生産されたものを地域で消費するだけでなく、地域で生産された農産物を地域で消費しようとする活動を通じて、農業者と消費者を結び付ける取組であり、これにより、消費者が、生産者と『顔が見え、話ができる』関係で地域の農産物・食品を購入する機会を提供するとともに、地域の農業と関連産業の活性化を図ることと位置付けています。

「地産」の範囲は明確ではない



「地産地消」を達成するためには、
農業者と消費者の距離がある程度近い必要がある





“給食ツーリズム”とは -ターゲット-

【地元産の定義】

「地産地消」が達成できる範囲として

農業者と消費者が同じ「県内」に所在することとする



給食で提供したいから…

【ターゲット】

神奈川県の公立小中学校

(私立学校や高等学校は給食がないため)



【参考文献】地産地消の推進について
https://www.maff.go.jp/j/study/tisan_tisyo/h17_01/pdf/data3.pdf



神奈川県完全給食率

ア 小学校

令和4年5月1日現在

設置者	学校数						児童数						計	
	完全給食		ミルク給食		計		完全給食		ミルク給食		計			
	学校数	率	学校数	率	学校数	率	児童数	率	児童数	率	児童数	率		
横浜市	337	335	99.4	-	-	335	99.4	174,492	173,937	99.7	-	-	173,937	99.7
川崎市	114	114	100.0	-	-	114	100.0	74,219	74,219	100.0	-	-	74,219	100.0
相模原市	70	70	100.0	-	-	70	100.0	33,619	33,619	100.0	-	-	33,619	100.0
指定市計	521	519	99.6	-	-	519	99.6	282,330	281,775	99.8	-	-	281,775	99.8
横須賀市	46	46	100.0	-	-	46	100.0	16,555	16,555	100.0	-	-	16,555	100.0
平塚市	29	29	100.0	-	-	29	100.0	11,938	11,938	100.0	-	-	11,938	100.0
鎌倉市	16	16	100.0	-	-	16	100.0	7,599	7,599	100.0	-	-	7,599	100.0
藤沢市	35	35	100.0	-	-	35	100.0	23,102	23,102	100.0	-	-	23,102	100.0
小田原市	25	25	100.0	-	-	25	100.0	8,476	8,476	100.0	-	-	8,476	100.0
茅ヶ崎市	19	19	100.0	-	-	19	100.0	12,939	12,939	100.0	-	-	12,939	100.0
逗子市	5	5	100.0	-	-	5	100.0	2,628	2,628	100.0	-	-	2,628	100.0
三浦市	8	8	100.0	-	-	8	100.0	1,390	1,390	100.0	-	-	1,390	100.0
秦野市	13	13	100.0	-	-	13	100.0	7,553	7,553	100.0	-	-	7,553	100.0
厚木市	23	23	100.0	-	-	23	100.0	10,855	10,855	100.0	-	-	10,855	100.0
大和市	19	19	100.0	-	-	19	100.0	11,797	11,797	100.0	-	-	11,797	100.0
伊勢原市	4	4	100.0	-	-	4	100.0	2,341	2,341	100.0	-	-	2,341	100.0
海老名市	1	1	100.0	-	-	1	100.0	76	76	100.0	-	-	76	100.0
座間市	1	1	100.0	-	-	1	100.0	150	150	100.0	-	-	150	100.0
南足柄市	1	1	100.0	-	-	1	100.0	129	129	100.0	-	-	129	100.0
綾瀬市	1	1	100.0	-	-	1	100.0	82	82	100.0	-	-	82	100.0
(除指定市)計	3	3	100.0	-	-	3	100.0	99.9	99.9	100.0	-	-	99.9	100.0
葉山町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0
寒川町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	99.9	99.9	100.0	-	-	99.9	100.0
大磯町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0
二宮町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0
中井町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0
大井町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0
松田町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0
山北町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	373	373	100.0	-	-	373	100.0
開成町	2	2	100.0	-	-	2	100.0	1,160	1,160	100.0	-	-	1,160	100.0
箱根町	3	3	100.0	-	-	3	100.0	247	247	100.0	-	-	247	100.0
真鶴町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	204	204	100.0	-	-	204	100.0
湯河原町	3	3	100.0	-	-	3	100.0	749	749	100.0	-	-	749	100.0
愛川町	6	6	100.0	-	-	6	100.0	1,726	1,726	100.0	-	-	1,726	100.0
清川村	2	2	100.0	-	-	2	100.0	114	114	100.0	-	-	114	100.0
町村計	40	39	97.5	-	-	39	97.5	13,252	13,250	100.0	-	-	13,250	100.0
(除指定)市町村計	327	326	99.7	-	-	326	99.7	152,717	152,715	100.0	-	-	152,715	100.0
市町村計	848	845	99.6	-	-	845	99.6	435,047	434,490	99.9	-	-	434,490	99.9

小学校

完全給食の生徒は
全市町村で99.9%

イ 中学校

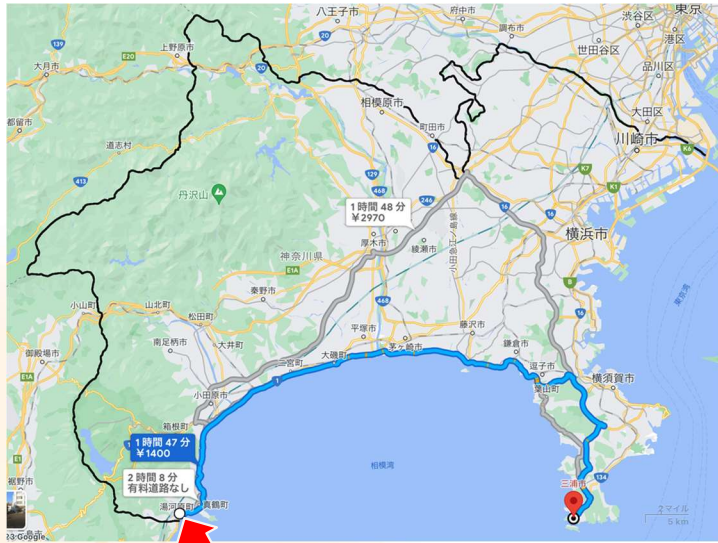
令和4年5月1日現在

設置者	学校数						生徒数						計	
	完全給食		ミルク給食		計		完全給食		ミルク給食		計			
	学校数	率	学校数	率	学校数	率	生徒数	率	生徒数	率	生徒数	率		
横浜市	145	144	99.3	-	-	144	99.3	76,990	76,976	100.0	-	-	76,976	100.0
川崎市	52	52	100.0	-	-	52	100.0	30,016	30,016	100.0	-	-	30,016	100.0
相模原市	35	35	100.0	-	-	35	100.0	16,772	16,754	99.9	-	-	16,754	99.9
指定市計	232	231	99.6	-	-	231	99.6	123,778	123,746	100.0	-	-	123,746	100.0
横須賀市	23	23	100.0	-	-	23	100.0	8,722	8,722	100.0	-	-	8,722	100.0
平塚市	16	16	100.0	-	-	16	100.0	6,264	6,264	100.0	-	-	6,264	100.0
鎌倉市	9	9	100.0	-	-	9	100.0	3,496	3,496	100.0	-	-	3,496	100.0
藤沢市	19	19	100.0	-	-	19	100.0	10,872	10,872	100.0	-	-	10,872	100.0
小田原市	11	11	100.0	-	-	11	100.0	4,316	4,316	100.0	-	-	4,316	100.0
茅ヶ崎市	13	13	100.0	-	-	13	100.0	6,145	6,145	100.0	-	-	6,145	100.0
逗子市	3	3	100.0	-	-	3	100.0	1,116	1,116	100.0	-	-	1,116	100.0
三浦市	3	3	100.0	-	-	3	100.0	802	802	100.0	-	-	802	100.0
秦野市	9	9	100.0	-	-	9	100.0	4,003	4,003	100.0	-	-	4,003	100.0
厚木市	13	13	100.0	-	-	13	100.0	5,677	5,677	100.0	-	-	5,677	100.0
大和市	9	9	100.0	-	-	9	100.0	5,587	5,587	100.0	-	-	5,587	100.0
伊勢原市	4	4	100.0	-	-	4	100.0	2,341	2,341	100.0	-	-	2,341	100.0
海老名市	1	1	100.0	-	-	1	100.0	76	76	100.0	-	-	76	100.0
座間市	1	1	100.0	-	-	1	100.0	150	150	100.0	-	-	150	100.0
南足柄市	1	1	100.0	-	-	1	100.0	129	129	100.0	-	-	129	100.0
綾瀬市	1	1	100.0	-	-	1	100.0	82	82	100.0	-	-	82	100.0
(除指定市)計	3	3	100.0	-	-	3	100.0	93.4	93.4	100.0	-	-	93.4	100.0
葉山町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0
寒川町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	99.9	99.9	100.0	-	-	99.9	100.0
大磯町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0
二宮町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0
中井町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0
大井町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0
松田町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0
山北町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	373	373	100.0	-	-	373	100.0
開成町	2	2	100.0	-	-	2	100.0	1,160	1,160	100.0	-	-	1,160	100.0
箱根町	3	3	100.0	-	-	3	100.0	247	247	100.0	-	-	247	100.0
真鶴町	1	1	100.0	-	-	1	100.0	204	204	100.0	-	-	204	100.0
湯河原町	3	3	100.0	-	-	3	100.0	749	749	100.0	-	-	749	100.0
愛川町	6	6	100.0	-	-	6	100.0	1,726	1,726	100.0	-	-	1,726	100.0
清川村	2	2	100.0	-	-	2	100.0	114	114	100.0	-	-	114	100.0
町村計	23	13	56.5	7	30.4	20	87.0	6,792	3,401	50.1	2,623	38.6	6,024	88.7
(除指定)市町村計	175	136	77.7	36	20.6	172	98.3	75,980	60,180	79.2	15,032	19.8	75,212	99.0
市町村計	407	367	90.2	36	8.8	403	99.0	199,758	183,926	92.1	15,032	7.5	198,958	99.6

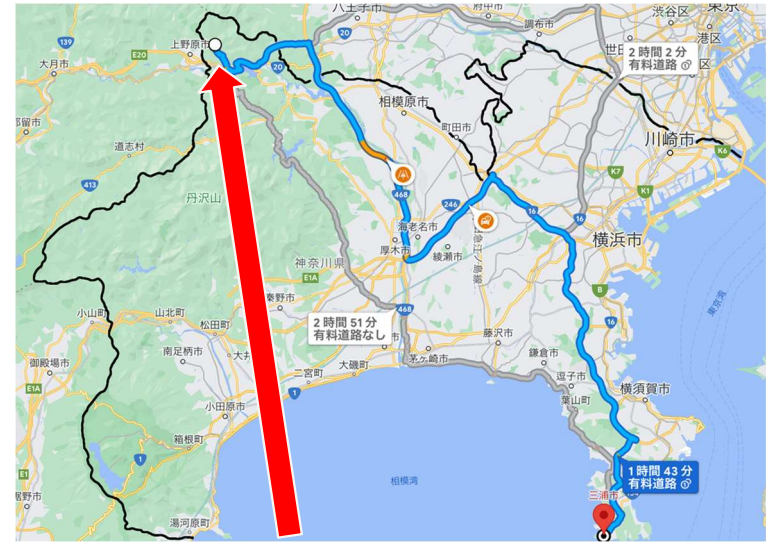
中学校

完全給食の生徒は
全市町村で92.1%

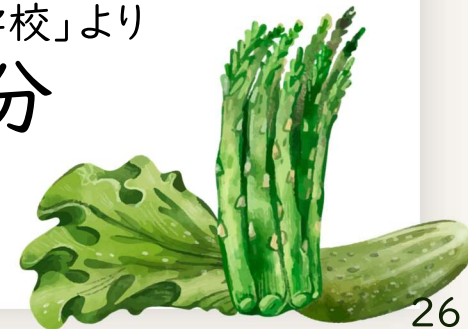
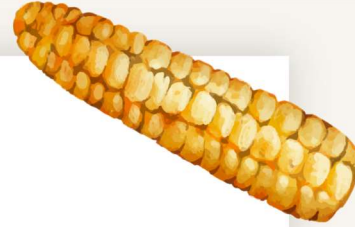
“給食ツアーリズム”とは -ターゲット-



神奈川県**最西端**の公立小中学校
「神奈川県立小田原支援学校 湯河原校舎」より
1時間47分



神奈川県**最北端**の公立小中学校
「相模原市立藤野北小学校」より
1時間43分



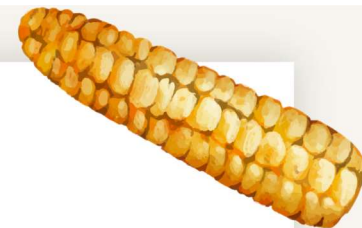
三浦市における漁業・農業体験の取り組み



三崎中学校による地引網体験



とうもろこし収穫ツアー



“給食ツーリズム”とは ①

ある1か月間を「食育月間」と定め、全学年が様々なテーマで食についての学びを深める

(例) 海老名市立小学校 ・ 6/1~6/30の1か月間 の場合

[地元産物の給食]

- ・地元野菜を味わう
- ・給食について親と話す

[食育]

- ・テーマ決め
↓
- ・調べ学習
↓
- ・発表(共有)

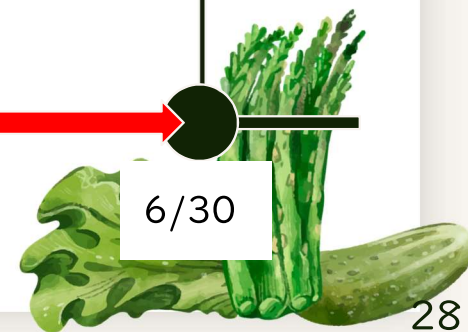
[日帰り修学旅行]

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 8:00 学校出発 | 12:30-13:15 農家レストラン |
| 9:00 漁場到着 | 13:30-16:00 農業体験 |
| 9:30-12:00 漁業体験 | 17:30 学校到着 |

6/1

この期間を各小・中学校ごとに少しずつずらすことで、
1年を通して修学旅行生が訪れる空間を作ることができる

6/30





”給食ツーリズム”とは ②

近場の学校を対象にした”給食ツーリズム”
種まきから収穫まで一年を通して行う→「食育」のさらなる活性化

[①種まき]

8:00 学校出発

8:30 農地到着

9:00 種まき・苗植え

10:30 農家との交流

[②定期的な訪問]

8:00 学校出発

8:30 農地到着

9:00 農作業

10:30 農家との交流

[③収穫]

8:00 学校出発

8:30 農地到着

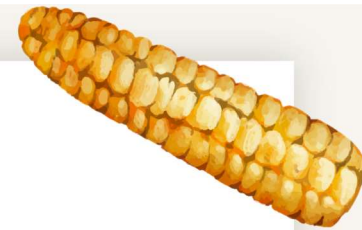
9:00 収穫

11:30 給食づくり



自分たちで育てた野菜を自分たちで収穫する食育サイクル





“給食ツーリズム”とは -特産物-

<かながわブランド>@三浦市



三浦かぼちゃ

6月中旬から8月上旬



三浦のだいこん

11月下旬から3月下旬



三浦のわかめ

通年



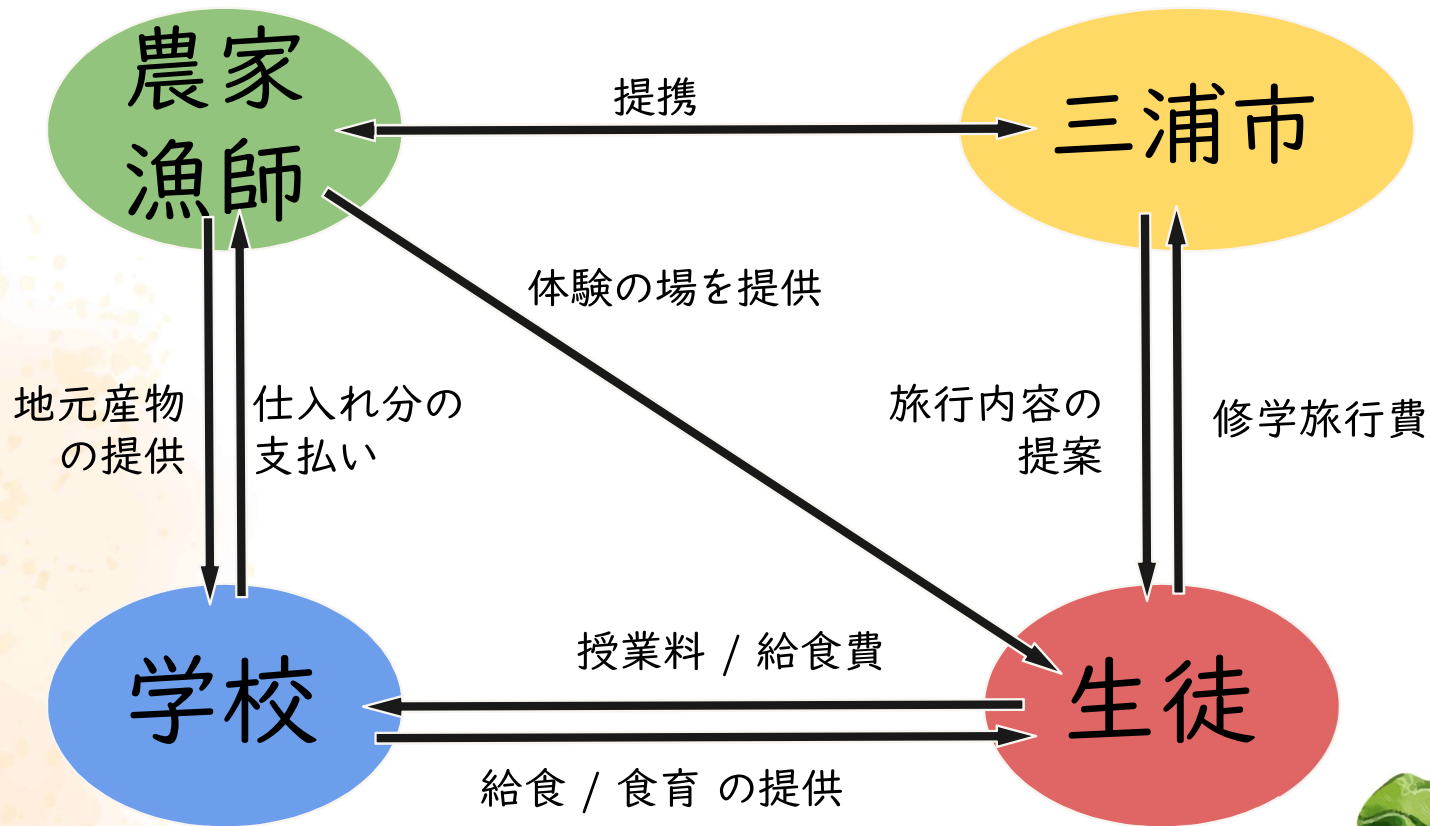
湘南しらす

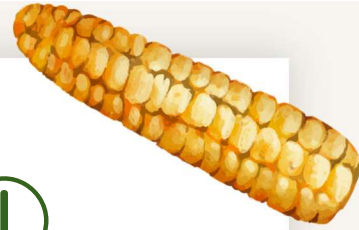
通年



【参考文献】地域のかながわブランド!
https://kanasan-no-hatake.jp/introduction/area/05_syonan.html

“給食ツーリズム”とは -各機関の関わり-





“給食ツーリズム”によって期待できる効果①

農家
漁師

- ・給食への提供による安定した**収入**
- ・**地元産物**の普及
- ・生徒たちの体験による農・漁作業量の**削減**

三浦市

- ・学校という団体客の確保による**大きな利益**
- ・**永続的**な利益





“給食ツーリズム”によって期待できる効果②

学校

・食育活性化のきっかけづくり

生徒

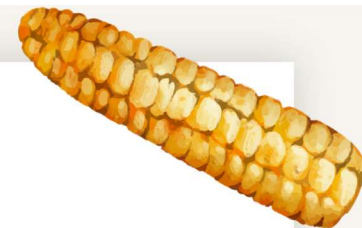
・念願の「修学旅行」の実施への喜び



経済的,教育的に大きなプラス効果



<4> 今後の展望





“給食ツーリズム”の未来

(1) 観光地としての利益 ~観光客確保の持続性~

個人旅行：旅行先の決定には 流行 など、**不安定**な要素がある
→ 毎年安定した観光客を得られるとは限らない (=観光客が枯渇する可能性もある)

修学旅行：旅行先は毎年変わらない + 小・中学生の生徒が途絶えることはない
→ **安定**した観光客の確保 + **半永久的**に修学旅行生が訪れる



持続的な観光客の確保



“給食ツーリズム”の未来



【出典】普段、親と話す内容
<https://www.bandai.co.jp/kodomo/pdf/question249.pdf>

(2) 地産物の普及 ~給食・修学旅行の宣伝力~

【普段、親とよく話す内容】(小中学生別、複数回答)

小学生 TOP10			中学生 TOP10		
1位	授業・宿題	80.7%	1位	授業・宿題	67.0%
2位	友達	77.0%	2位	友達	59.3%
3位	先生	58.0%	3位	部活	55.3%
4位	給食・お弁当	53.8%	4位	先生	45.3%
5位	TV番組	50.5%	5位	TV番組	45.0%

給食・修学旅行関連 その他の学校活動

小・中学生は「学校の出来事」について親と話すことが多い



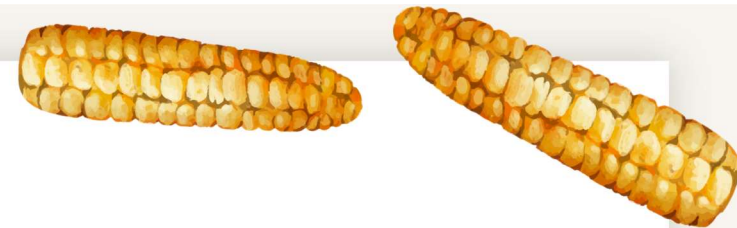
親への地産物の宣伝効果が見込める

親への宣伝効果による

地産地消意識の向上



地産地消の有用性



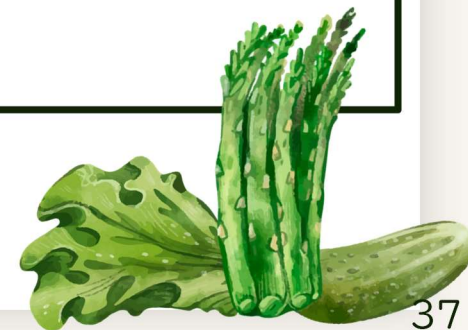
生産者の利点

- ・地域の消費者ニーズを的確にとらえた**効率的**な生産が可能
- ・**流通経費**の節減により、生産者の手取りの**増加**、**CO2の削減**による収益性の向上
- ・**不揃い野菜**なども販売することができる
- ・消費者の反応を確認でき、生産者が**品質改善**や**顧客サービス**に勤めることができる

消費者の利点

- ・身近な場所から**新鮮**な農産物を得ることができる
- ・自らが生産状況等を確認でき、**安心感**が得られる
- ・食と農について**親近感**を得て、生産と消費の関わりや**伝統的**な食文化について、理解を深められる
- ・**環境に優しい**生活につながる

【出典】東海農政省
<https://www.maff.go.jp/tokai/keiei/shokuhin/chisan/merit.html>





最終的な目標

県内に所在する多くの小・中学校から、1年を通して修学旅行生が訪れることで…

地産地消の定義

(農林水産省より)

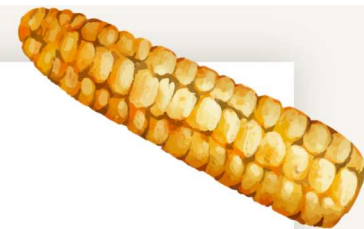
地産地消とは、地域で生産されたものをその地域で消費することですが、国の基本計画では、地域で生産されたものを地域で消費するだけでなく、地域で生産された農産物を地域で消費しようとする活動を通じて、農業者と消費者を結び付ける取組であり、これにより、消費者が、生産者と『顔が見え、話ができる』関係で地域の農産物・食品を購入する機会を提供するとともに、地域の農業と関連産業の活性化を図ることと位置付けています。

ただ地産物を消費するだけではない、

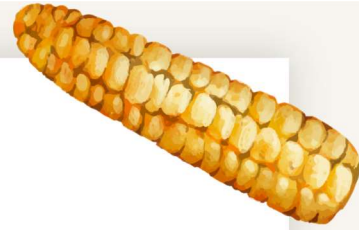
人と人がつながる「**地産地消**」の達成へ



終



Appendix



日帰り修学旅行のニーズ

ホテル価格の高騰



【出典】ウイズコロナ時代の生活者の旅行意識調査
<https://www.kankokeizai.com/>【データ】ウイズコロナ時代の生活者の旅行意識/

(例) 東京23区のホテル価格の推移

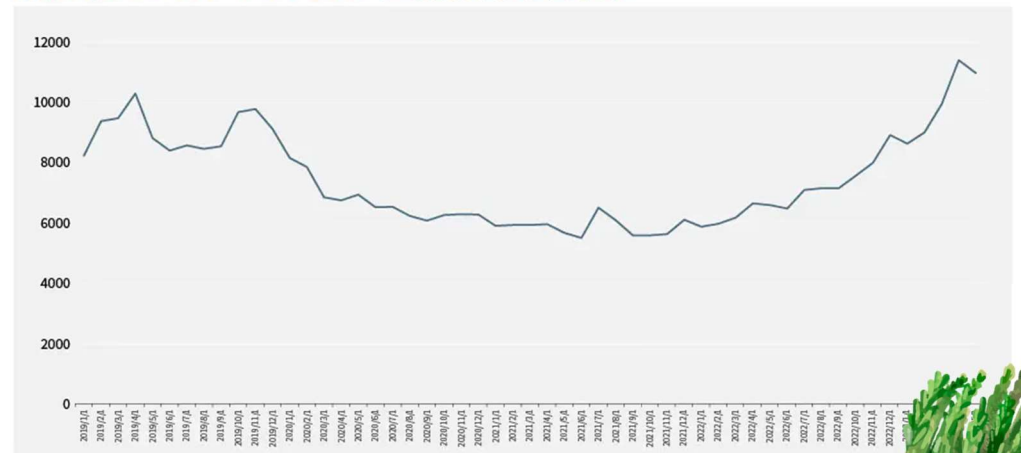
主要都市別 宿泊価格の推移

都市名	2019年5月 コロナ前	2021年5月 コロナ禍	2023年5月 現在
東京	¥8,811	¥5,669	¥10,962
大阪	¥7,046	¥4,656	¥8,426
京都	¥9,610	¥6,808	¥12,642
札幌	¥8,073	¥4,889	¥7,651
福岡	¥8,236	¥6,271	¥8,544
名古屋	¥6,232	¥5,043	¥7,166
横浜	¥7,783	¥6,470	¥9,717
那覇	¥6,490	¥5,785	¥6,878
広島	¥6,808	¥5,132	¥8,686
仙台	¥6,959	¥5,108	¥7,987

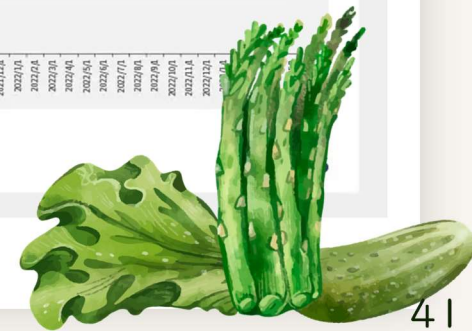
2023年6月時点(各年5月1日～2023年5月31日のビジネス・シティホテル平均価格より算出)



東京23区 ビジネス・シティホテル平均宿泊単価(1名料金)



2023年6月時点



ウィズコロナ時代の“給食ツーリズム”

GOOD POINTS

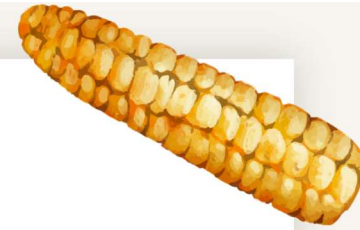
- ☑ 人混みが少ないこと
→感染リスクの低い自然環境◎

- ☑ コロナ対策がしっかりしていること
→個人旅行ではなく「学校」「観光会社」主体
→十分な感染対策が見込める◎

- ☑ 目的地が近場であること
→県内(1~2時間程度で到着できる)◎

観光客の需要

- ☑ 人混みが少ない
- ☑ 安全な交通手段
- ☑ 少人数での観光
- ☑ コロナ対策がしっかりしている
- ☑ 目的地が近場である





ウィズコロナ時代の“給食ツーリズム”

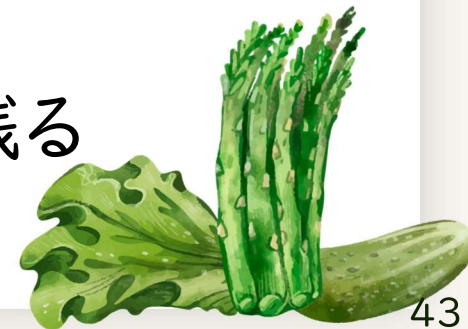
CONCERNS

- ☑ 安全な交通手段
→クラス単位でのバス乗車の安全性△
- ☑ 少人数での観光
→クラス人数の多さ△

観光客の需要

- ☑ 人混みが少ない
- ☑ 安全な交通手段
- ☑ 少人数での観光
- ☑ コロナ対策がしっかりしている
- ☑ 目的地が近場である

ウィズコロナ時代には...
クラス / 学年 という **団体行動** に不安が残る



ウィズコロナ時代の“給食ツーリズム”













ウィズコロナ時代、クラス / 学年 という **団体行動** に不安が残る → 工夫をしよう◎

① バス換気

【出典】大型観光バスの車内換気能力
https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/top/data/covid19_info_shyanaikanki.pdf

○ 大型観光バスの車内換気能力

別紙 1

	日野		いすゞ		三菱ふそう			UDトラックス	ヒュンダイ	
	現行モデル	前モデル	現行モデル	前モデル	現行モデル	前モデル	前々モデル	前モデル	現行モデル	前モデル
代表型式 (大型観光系)	 RU1ESAA	 RU4FSEA	 RU1ESAG	 LV7系	 MS06	 MS96	 MS8*	 AS96	 2DG-RD00	 LDG-RD00
車内換気能力 (停車時)	約5分	約7分	約5分	約6分	約5分	約5分	約5分	約5分	約7分	換気扇無し
製造開始年	2005年	2000年	2005年	1996年	2017年	2007年	1992年	2007年	2017年	2010年
窓開けができる車両の割合	85%	90%	85%	85%	90%	90%	90%	90%	80%	80%
現在の市場に占める割合 (各社毎)	75%	12%	84%	16%	15%	55%	30%	100%	9%	91%

車内換気能力：
5~7分で換気可能

窓開けによる換気





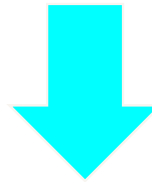
ウィズコロナ時代の“給食ツーリズム”

②生活の管理

「学校」だからこそ...

旅行前の生活・健康管理を徹底できる

(例) 日々の生徒の様子^{の様子}の観察 / 体調^のチェックシート提出の義務付け 等



工夫次第で懸念点は解消可能



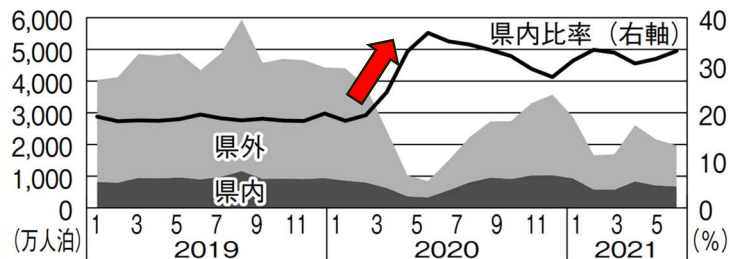
“マイクロツーリズム”

【出典】日本の観光の現状と今後の展望 深沢瑛介、中山晃一、楠原雅人 2021年
令和4年版観光白書について 官公庁 2022年

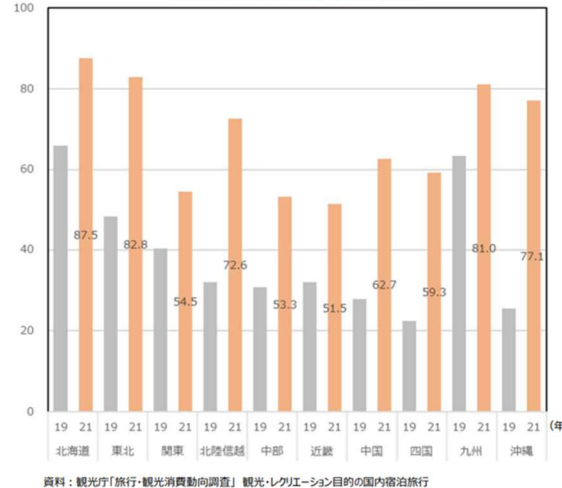


マイクロツーリズムとは...?
1~2時間程度の移動圏内の「地元」で観光する近距離旅行の形態のこと。公共交通機関の利用を避けた自家用車による移動を中心とし、地域の魅力の再発見と地域経済への貢献を念頭に置いた旅行形態。

県内県外延べ宿泊者数の推移



(図表 II-33) 居住エリア別地域ブロック内の域内旅行者割合 (2019年と2021年の比較)



新型コロナウイルス感染拡大後...
宿泊者数の県内比率の大幅増加
(=県内で旅行を済ませる人が増えた)

新型コロナウイルス感染拡大後...
居住エリアと
同ブロックの地域への
旅行者の大幅増加
(=近場旅行の需要増加)

“マイクロツーリズム”の需要の高まり





“マイクロツーリズム” 修学旅行への応用

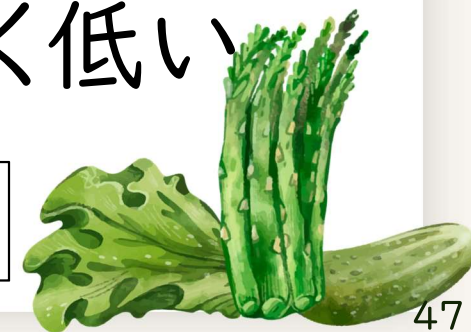
2018年度		目的地									
		北海道	東北	北関東・甲越	首都圏	中部	関西	中国四国	九州	沖縄	海外
出発地	北海道	6.9%	12.0%	0.0%	20.7%	0.0%	31.2%	3.1%	7.8%	5.7%	12.6%
	東北	0.8%	0.9%	0.1%	37.2%	0.1%	40.9%	8.3%	0.8%	5.0%	6.1%
	北関東・甲越	0.5%	0.3%	0.6%	2.9%	0.0%	49.4%	7.8%	2.6%	28.0%	8.0%
	首都圏	2.9%	1.6%	0.6%	0.6%	1.7%	52.4%	6.2%	5.1%	18.6%	10.3%
	中部	3.6%	1.2%	1.3%	31.4%	4.6%	17.1%	9.5%	7.7%	14.2%	9.4%
	関西	13.5%	1.3%	2.9%	11.1%	8.6%	1.1%	3.1%	12.1%	26.4%	20.0%
	中国四国	10.3%	0.2%	2.0%	31.4%	2.0%	18.3%	0.9%	8.5%	19.6%	6.8%
	九州	8.9%	1.8%	10.0%	13.2%	11.1%	25.9%	3.4%	11.6%	2.2%	11.8%
	総計	5.9%	1.4%	2.3%	13.3%	4.4%	30.6%	5.7%	7.4%	17.4%	11.6%



2021年度		目的地									
		北海道	東北	北関東・甲越	首都圏	中部	関西	中国四国	九州	沖縄	海外
出発地	北海道	26.3%	14.3%	0.0%	4.5%	2.7%	25.9%	11.7%	5.7%	7.4%	1.9%
	東北	3.8%	21.7%	11.1%	16.9%	0.6%	35.2%	2.6%	1.4%	6.8%	0.0%
	北関東・甲越	3.3%	9.4%	8.6%	0.9%	6.2%	33.6%	8.1%	5.0%	24.4%	0.4%
	首都圏	4.2%	3.3%	2.1%	1.9%	4.3%	48.1%	6.7%	8.7%	19.8%	0.9%
	中部	1.9%	1.1%	12.9%	8.4%	25.8%	16.4%	11.4%	8.7%	12.6%	0.8%
	関西	13.8%	1.8%	3.3%	2.8%	23.0%	10.4%	10.8%	17.5%	14.9%	1.5%
	中国四国	11.4%	1.7%	1.8%	15.7%	3.7%	18.2%	21.1%	18.0%	8.0%	0.6%
	九州	10.7%	2.0%	8.6%	14.3%	7.8%	16.7%	5.5%	31.0%	2.9%	0.4%
	総計	7.3%	4.2%	6.0%	6.5%	11.8%	27.2%	9.0%	13.2%	14.1%	0.8%

出発地とて同ブロックを目的地とする修学旅行が3年間で... 最大 約20倍増加している
首都圏の増加率は他と比べて著しく低い

【出典】JTB: コロナ禍における修学旅行の実態と実施に向けての対策とは
<https://www.jtbbwt.com/education/trend/detail/id=1927>



食育とは

(農林水産省より)

食育は、生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てることです。

【出典】農林漁業体験をするとどんないいことがあるの？

<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/evidence/attach/pdf/index-25.pdf>

